

# 令和 7 年度 社会福祉法人 城島福社会 事業報告

- ふれあいの園 ケアプランサービス P1~P5
- 特別養護老人ホーム ふれあいの園 P6~P7
- 短期入所生活介護 P8~P9
- ふれあいの園 デイサービスセンター P10~P17
- ケアハウス ふれあい荘 (特定施設入居者生活介護) P18~P25
- ホームヘルプ事業 P26~P29
- 在宅支援室 P30~P32
- ふれあいの園 みづまケアプランサービス P33~P35
- ふれあいの園 就労継続支援 B 型事業所 P36~P37

## 令和7年度 ふれあいの園ケアプランサービス

### 事業報告書

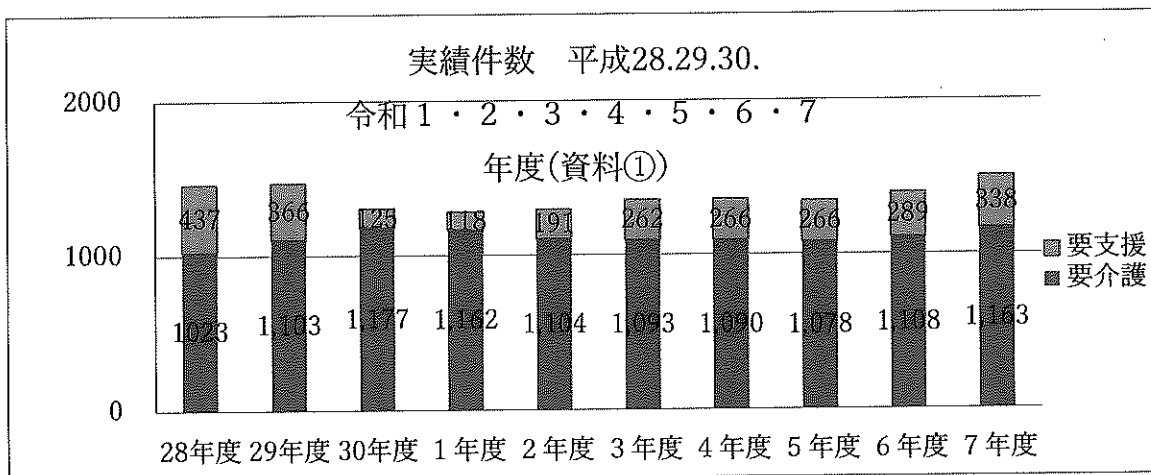
実績について（資料①②）

昨年度と比べますと、要介護者で55件増、要支援者は49件増でした。介護支援専門員1人当たりの基準担当件数を月/44件（令和6年度の介護保険改正により基準担当件数が35件より44件に変更。要支援者2件で要介護者1件から要支援者3件で要介護者1件の計算になった）で計算した場合、今年度の稼働率は、介護支援専門員3名体制で月平均/35.4件、稼働率80.4%でした。収益は、昨年度より¥79,7729円増収になりました。

介護保険法改正により、指定居宅介護支援事業所が介護予防支援の指定を受けることが出来るようになり令和6年6月より指定申請を行い、包括から委託を受けることなく、一部の利用者と直接、介護予防支援の契約ができるようになりました。

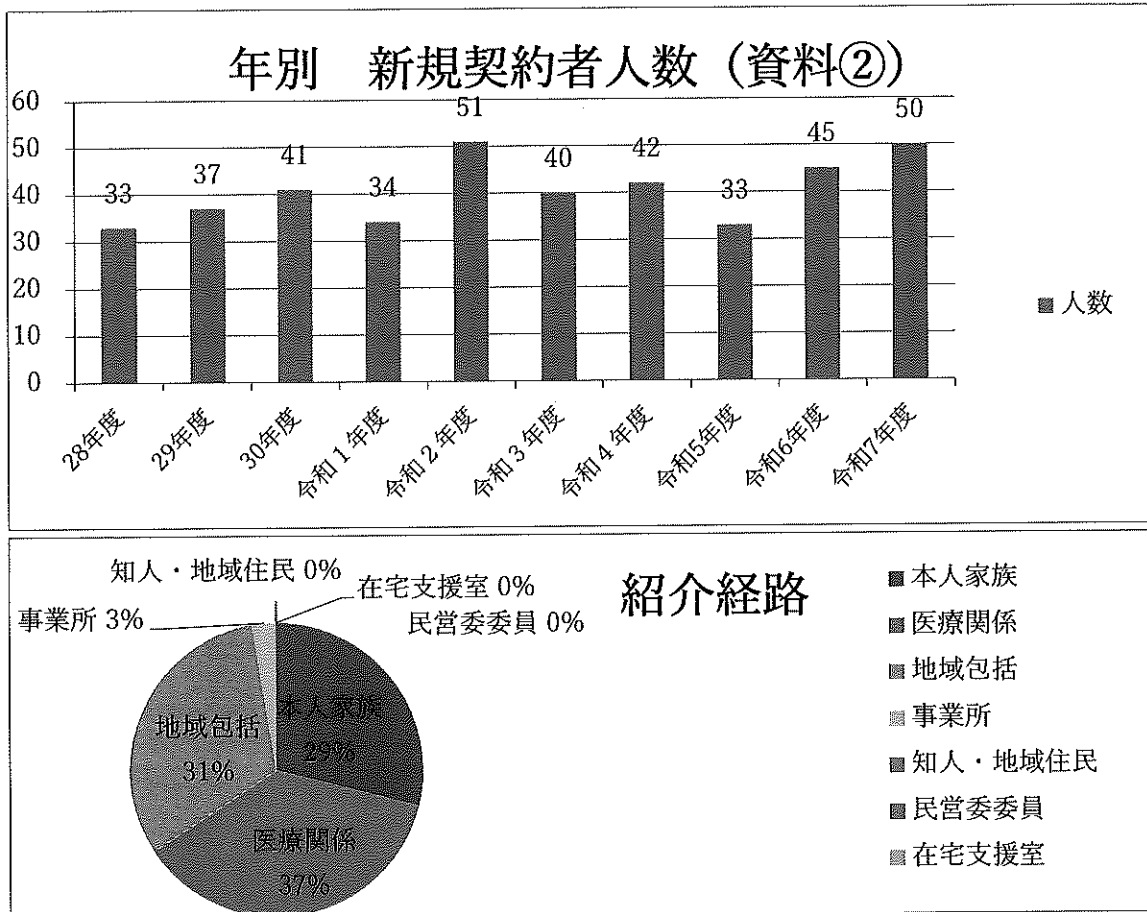
令和7年度に介護予防支援を直接契約した件数は、279件で昨年度より118件増え、委託である介護予防マネジメントと比較し、直接契約できる介護予防支援が8割以上を占めている状況です。委託料より直接契約したほうが、報酬単価は2割ほど高く、委託費より差額で¥206,460円増収になりました。

#### ① 実績件数 平成28.29.30年度.令和1.2.3.4.5.6.7年度

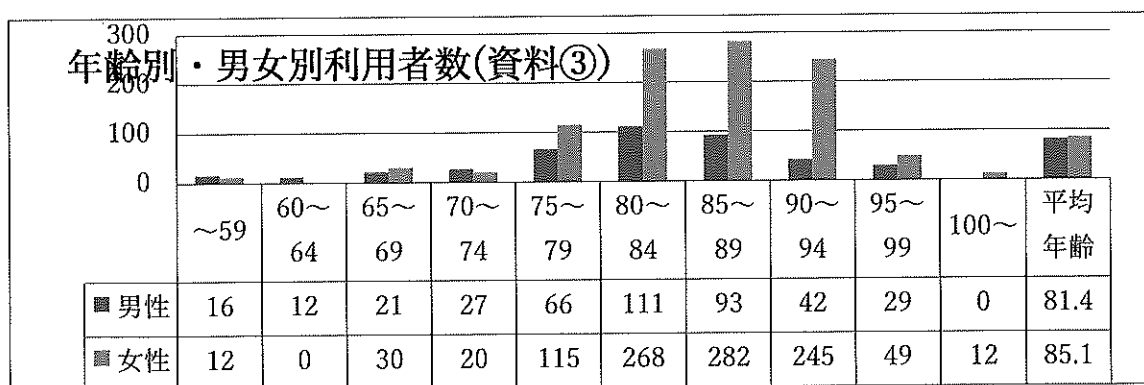


| 収入     | 令和7度目標数    | 令和7年度実績    | 達成率  | 令和6年度実績    |       |
|--------|------------|------------|------|------------|-------|
| 利用者延べ数 | 1,548      | 1,501      | 97%  | 1,211      |       |
| 総収入    | 18,500,000 | 19,024,620 | 103% | 18,226,891 |       |
|        |            |            |      |            |       |
| 支出     | 予算額        | 実績額        | 執行率  | 人件費率       | 職員増減数 |
| 事業費支出  | 490,000    | 345,790    | 71%  | 85.4%      | 増 0 名 |
| 事務費支出  | 700,000    | 630,880    | 90%  |            | 減 0 名 |

## ② 年別 新規契約件数及び紹介経路



## ③ 年齢／男女別 利用者数

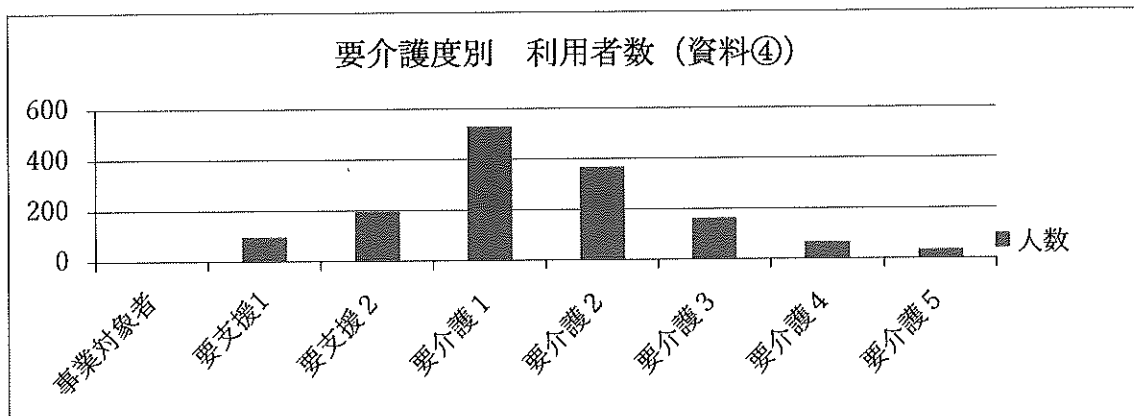


・年齢別・男女別利用者数について (資料③)

平均年齢 84.歳、男性 81.4 歳、女性 85.1 歳。 男性=28.7%、女性=71.2%

昨年より平均で 0.6 歳高齢化しており、男女比も女性利用者の割合が増加傾向です。

## ④ 要介護度別 利用者数

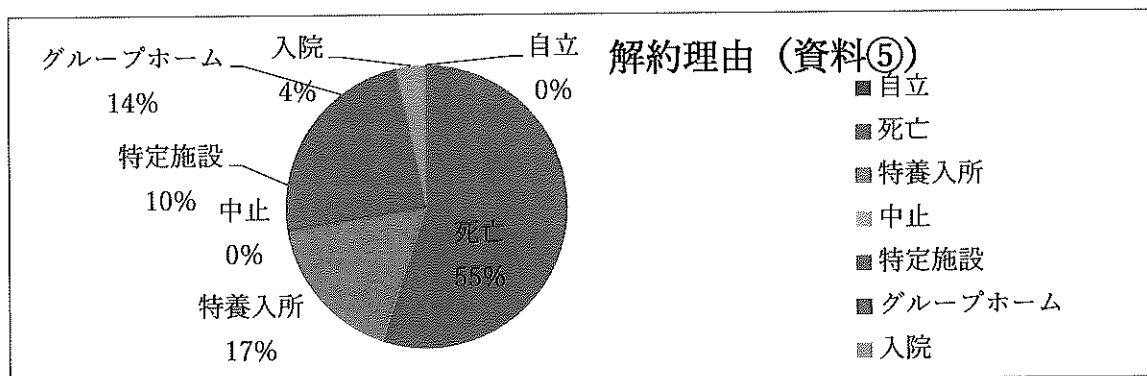


・介護度別の利用者人数について (資料④)

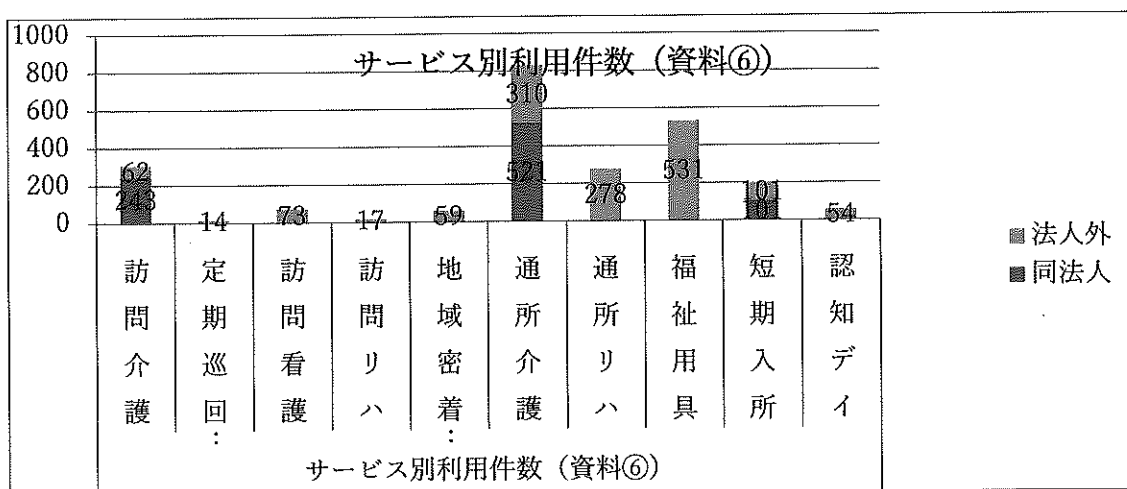
平均要介護度は 1.58 (平均要介護度は要支援以下を 0.375 として計算しています。)

昨年度から 0.12 重度化しており、要支援から要介護 1・2 までの利用者数が全体の約 8 割になっています。

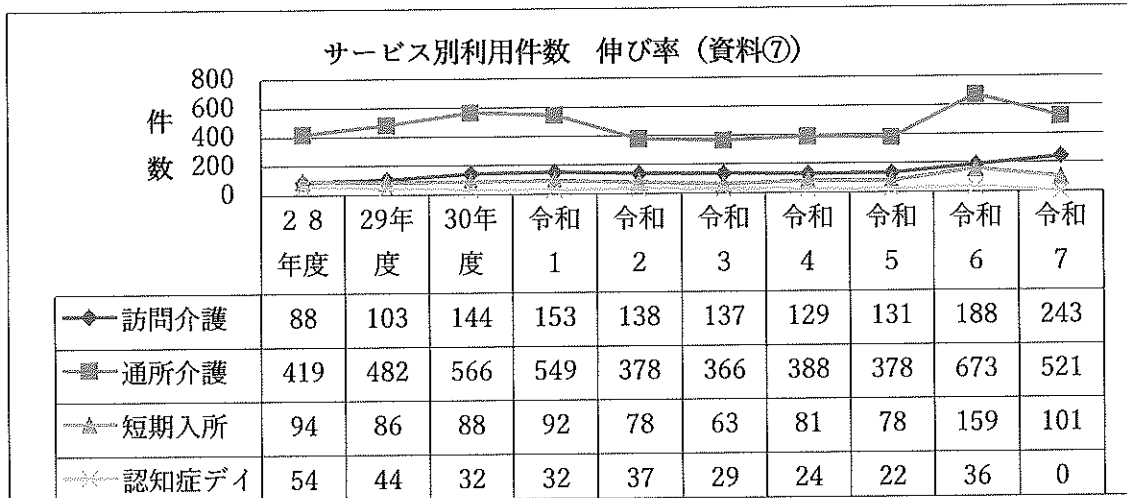
## ⑤ 解約理由



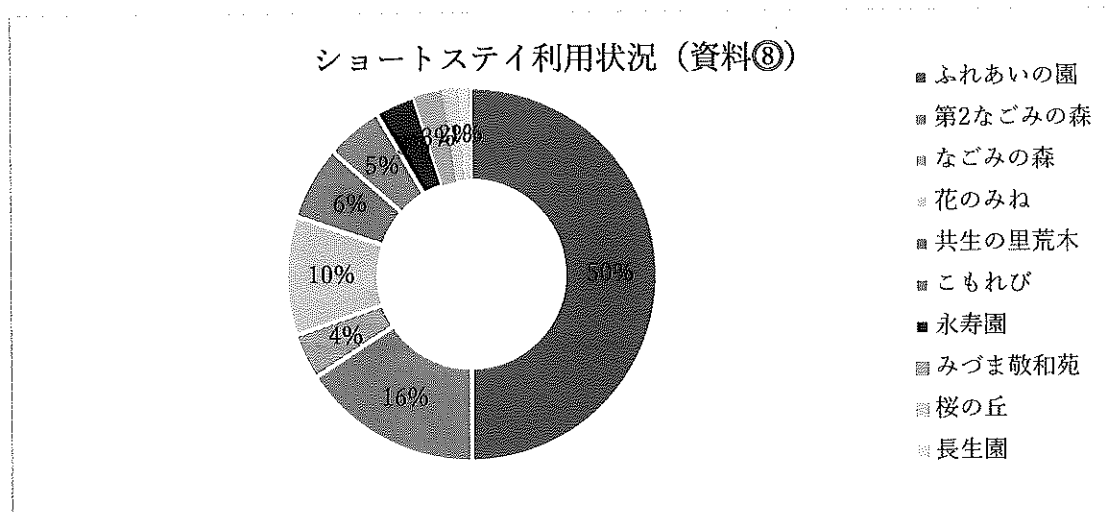
## ⑥ サービス別利用件数



## ⑦ サービス別利用件数 伸び率



## ⑧ ショートステイ利用状況



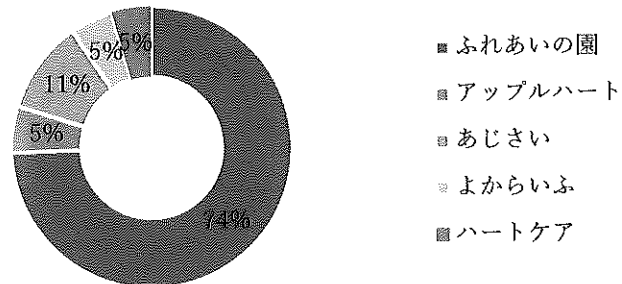
### ・ショートステイ利用状況について (資料⑧)

事業所が多様化している理由として、週末等は利用希望が集中しやすく、満床のため、佐賀県や大川市の事業所まで複数の事業所を併用するなど、選択肢を広げて利用されている状況です。

一方で施設入所待機者については、どの施設も減少しています。住宅型や介護付き有料老人ホームなど多様な施設が増えたことで、入所先の選択肢も増えたからだと考えます。そのため、特養入所希望者がショートステイを利用しながら入所待機する期間も短くなっており、早い方では入所申し込みから1か月ほどで特養入所になったり、入所待機者が少ない特養は、こまめに入所判定会議を開いて、入所につなげている状況です。

## ⑨訪問介護利用状況

訪問介護利用状況（資料⑨）



### ・訪問介護利用状況について（資料⑨）

同一法人の訪問介護についても、ヘルパーの高齢化等、慢性的な人材不足にて事業継続が危機的であります。城島町に唯一の訪問介護事業所であり、在宅介護を支える重要な社会資源であることも踏まえ、事業が継続できるよう法人からも支援策を講じていただきたい。

### 令和7年度 研修一覧

| 日付     | 時間          | 内容                                     | 参加者 |
|--------|-------------|----------------------------------------|-----|
| 4月16日  | 9:00~9:30   | BCP                                    | 全員  |
| 4月23日  | 14:00~15:00 | 感染症委員会                                 | 久間  |
| 5月12日  | 10:00~11:00 | ケアマネよらん会                               | 全員  |
| 7月25日  | 8:45~9:15   | 個人情報保護研修                               | 全員  |
| 8月9日   | 13:30~15:30 | 虐待予防研修会・委員会                            | 全員  |
| 9月29日  | 13:30~15:30 | 令和7年度 在宅医療介護従事者向け研修会（オンデマンド配信）         | 全員  |
| 11月12日 | 14:00~16:00 | 令和7年度 西圏域複数事業所事例検討会                    | 全員  |
| 11月19日 | 14:00~16:30 | 令和7年度 難病相談従事者研修                        | 箴島  |
| 12月5日  | 13:30~15:30 | 令和7年度 要援護者による高齢者虐待予防研修会                | 箴島  |
| 1月9日   | 9:00~9:30   | 感染症委員会                                 | 全員  |
| 1月30日  | 19:00~21:00 | 令和7年度ヤングケアラー支援機関等研修会 ヤングケアラーを支えるネットワーク | 箴島  |
| 2月12日  | 14:00~16:00 | ケアマネよらん会                               | 久間  |
|        |             |                                        |     |

# 令和 7 年度 事業報告書

## 特別養護老人ホームふれあいの園

### 1. 令和 7 年度の利用状況と実績について

令和 7 年度の利用状況は平均請求者数が 48.8 人とほぼ 50 人の満床を継続しています。売上について、期首予算比 107%、補正予算比 103%、前年比 106%、13,130,949 円増収しました。ひと月の平均入院者数が令和 6 年度 4.1 人（123.4 泊）が令和 7 年度 2.3 人（70.8 泊）と改善できましたので大幅な増収を達成できました。令和 8 年度も満床を継続していきます。

#### 入所待機者の状況について

令和 8 年 3 月末現在で 28 名となっています。令和 7 年 3 月末は 43 名でしたので、15 名減少しています。

#### 行事について

行事については、花見会、かき氷会、クリスマス駄菓子屋さん会、バレンタインカフェ&おしるこ会、餅つき大会を行いました。少しずつではありますが、入居者の顧客満足度向上に向けて対応していきたいと考えます。

### 2. 令和 7 年度事業計画の評価について

#### 1. 介護サービスの質の均質化と効率化、介護職員の労働負担軽減について

7 年度、入職者 3 名、退職者 4 名、異動により 3 名増 1 名減、休職者 3 名（うち育休 1 名）7 年度も引き続き施設長等管理者の現場配置、派遣職員の利用を進めたことにより少ない人員でも業務を継続することが出来ました。令和 8 年度も職員の定着率向上、人員の拡充を行い、施設全体のサービスの質の向上に努め、適切な労働環境を構築していきます。

## 2. 感染症対策について

感染症対策委員会を定期的に開催し、職員に情報発信、感染予防に努めています。これまで制限していた外出、外泊も許可するようになり、入居者とそのご家族の満足度は上がっています。今後も職員の勤務時、休憩時の検温、手指消毒の徹底は継続しています。

## 3. 新型コロナウイルス・インフルエンザ対策について

クラスター発生を未然に防ぐために、入居者、職員への感染対策の徹底、体調不良者の状態観察に努めました

## 4. 入院者の対応について

病院のソーシャルワーカーと連携を取り、退院または退所の手続きを円滑に進めて参りました。ひと月の平均入院者数が昨年度に比べて劇的に減少できました。今後も入居者の健康観察に努め、病状の早期発見、早期受診、早期の退院を目指していきます。

## 5. 社会貢献活動について

継続して、ふくおかライフレスキュー活動に賛同しております。特にライフレスキュー久留米連絡会・実行部会に参画し定例会、住環境整備活動等を行っています。また、令和7年7月には筑後地区老人福祉施設協議会の災害ボランティアとして職員を石川県能登市に派遣し、被災家屋の泥撤去、被災ボランティアの方達と意見交換等を行いました。久留米市社会福祉協議会を通じて各校区の支えあい推進会議に参加し、情報収集に努めました。

## 3. 収支の状況について

| 収入の部  | 7年度目標数       | 7年度実績        | 達成率  |
|-------|--------------|--------------|------|
| 平均利用数 | 50名          | 48.8名        | 97%  |
| 総収入   | 213,000,000円 | 220,197,555円 | 103% |

| 支出の部  | 予算額         | 実績額         | 執行率    | 人件費率  |
|-------|-------------|-------------|--------|-------|
| 事業費支出 | 39,310,000円 | 39,582,642円 | 100.6% | 95.5% |
| 事務費支出 | 17,380,000円 | 17,442,730円 | 100.3% |       |

## 4. 今後の課題について

人員不足は継続していますが限られた人員で入居者満足度を下げないように日々、議論を重ねています。ハローワーク、紹介・派遣会社による求人活動を強化し、新規職員の雇用に繋げていきます。令和8年6月予定で特定技能外国人を雇用します。しっかりと教育を行い、人員不足を解消していきます。令和8年4月に副主任を2名登用し、組織体制の強化に努めて参ります。

※ 令和7年度の苦情・相談の受付は2件ありました（対応し解決済）



# 令和年 7 度 事業報告書

特別養護老人ホームふれあいの園

## 短期入所生活介護

### 1. ショートステイの収入評価について

令和 7 年度の営業成績は定員 20 人に対し平均稼働率 12.2 人、予算達成率 104%、前年度比 179%、前年度と比べて 23,127,834 円増収しております。

久留米市から委託を受けております生活支援ショートステイ利用については、令和 7 年度の利用はありませんでした。

### 利用者の状況について

令和 7 年 4 月に法人内異動により介護職員 3 名が増加になり、ショートステイに多くの利用者を受け入れることができました。

### 2. 令和 7 年度事業計画の評価について

#### 1. ベッド稼働率 55%の達成

今年度は、多くの方に利用して頂きベッド稼働率 60%を達成致しました。

#### 2. 介護サービスの質の均質化と効率化、介護職員の労働負担の軽減について

7 年度、入職者 3 名、退職者 4 名、異動により 3 名増 1 名減、休職者 3 名（うち育休 1 名）7 年度も引き続き施設長等管理者の現場配置、派遣職員の利用を進めたことにより少ない人員でも業務を継続することが出来ました。令和 8 年度も職員の定着率向上、人員の拡充を行い、施設全体のサービスの質の向上に努め、適切な労働環境を構築していきます。

#### 3. アクティビティについて

作業療法士による、リハビリ・アクティビティの充実を図っています。個別対応、集団での対応等、利用者のニーズ、状態に応じて対応しています。

### 3. 収支の状況について

| 収入の部    | 7年度目標数      | 7年度実績       | 達成率  |
|---------|-------------|-------------|------|
| 日平均利用者数 | 11人         | 12.2名       | 110% |
| 総収入     | 50,000,000円 | 52,093,627円 | 114% |

| 支出の部  | 予算額         | 実績額         | 執行率    | 人件費率  |
|-------|-------------|-------------|--------|-------|
| 事業費支出 | 11,800,000円 | 12,066,985円 | 102.2% | 96.2% |
| 事務費支出 | 3,300,000円  | 3,175,276円  | 96.2%  |       |

### 4. 今後の課題について

利用者の満足度を下げないように日々、議論を重ねています。その人らしい充実した施設生活と在宅生活が出来るよう、利用者と家族の思いに寄り添いながら安心・安全に業務を行ってまいります。

緊急案件や独居、在宅生活困難者等を可能な限り受け入れていきます。

※ 令和7年度の苦情・相談の受付はありませんでした。

## 令和7年度 ふれあいの園デイサービスセンター 事業報告書

### I、年間稼働日数

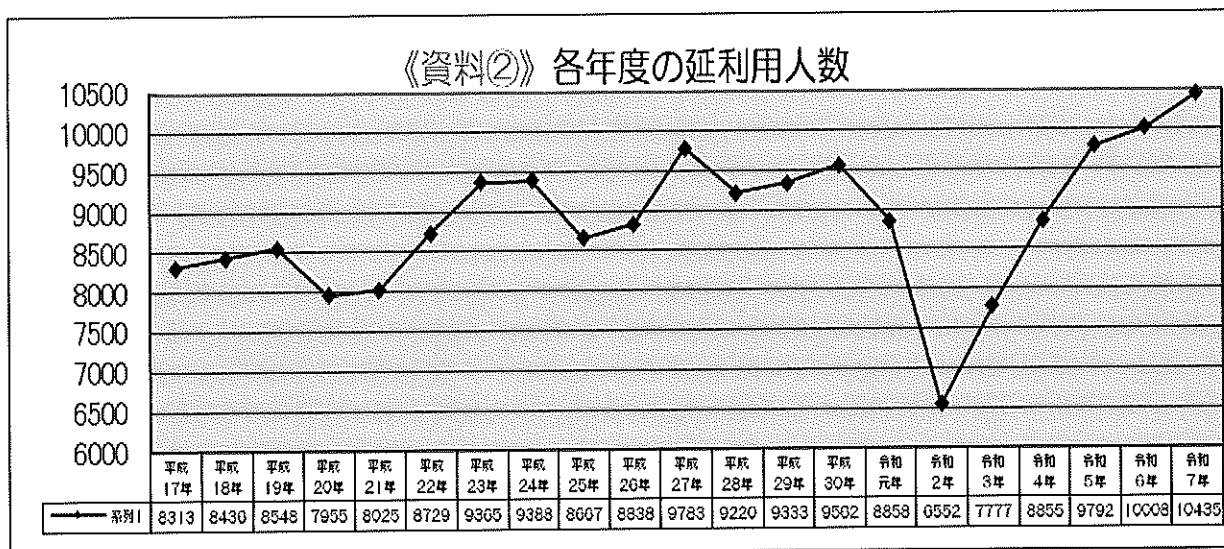
|      | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|------|-------|-------|-------|
| 稼働日数 | 311 日 | 310 日 | 311 日 |

・令和7年度は災害や感染症などの影響はなく臨時休業はありませんでした。全ての営業日とも営業時間通りの営業を実施しています。

### II、サービスの利用状況について

#### 《資料①》

|           | 令和5年度   | 令和6年度    | 令和7年度    |
|-----------|---------|----------|----------|
| 年間利用者延べ人数 | 9,792 人 | 10,008 人 | 10,435 人 |
| 一日の平均利用者数 | 31.4 人  | 32.2 人   | 33.6 人   |



- ・令和7年度の年間の延べ利用数は前年度比+4.2%と増加しました。令和6年度の過去最多利用数を更新し、記録が残っているなかで最も利用数が多い年度となりました。

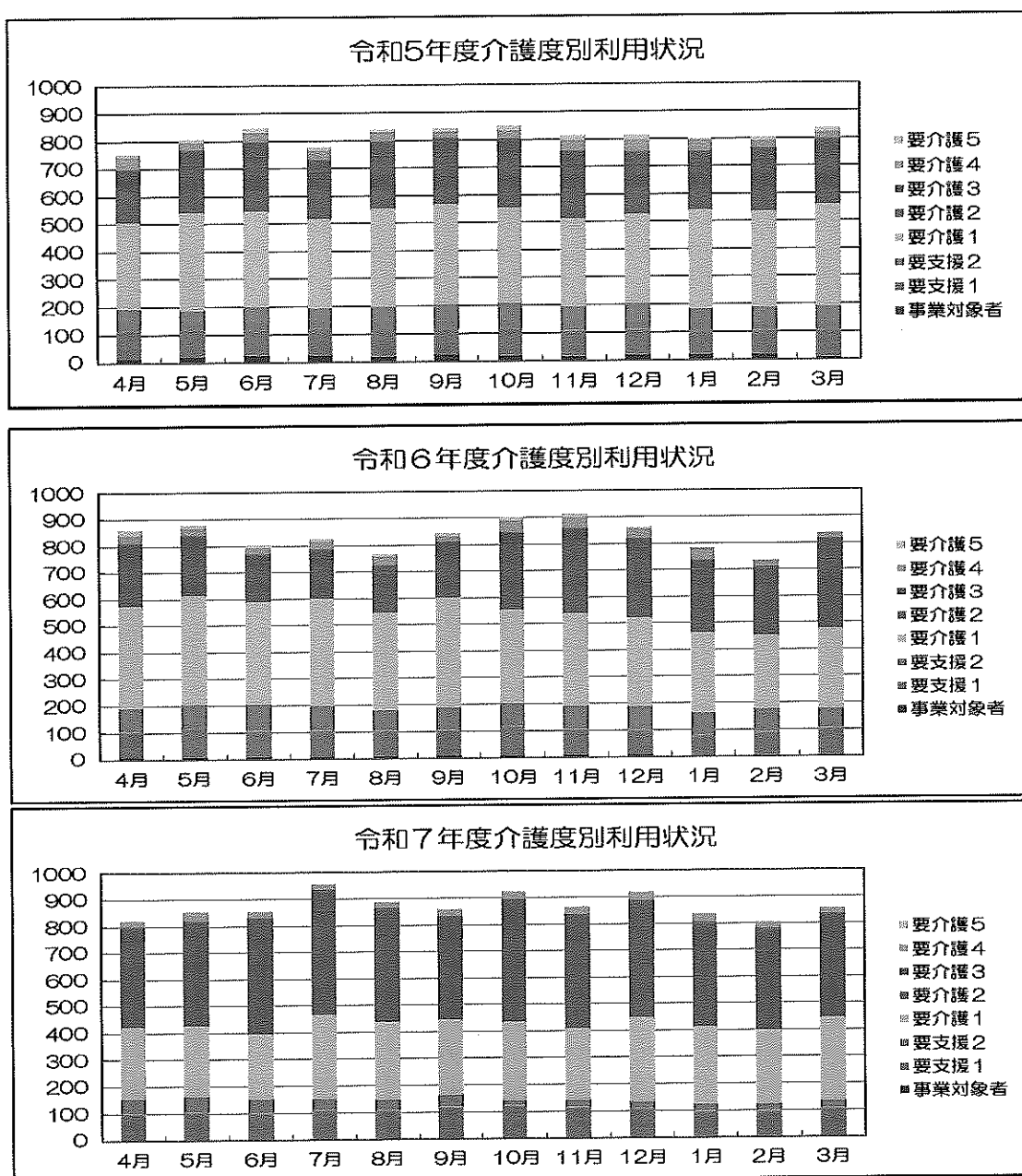
#### 《資料①・②》

- ・事業所の利用定員を[平日／通所介護 30 名、総合事業 10 名の合計 40 名]として、ひと月の平均稼働率は 83.9%となっています。ただ、令和7年7月に通所介護のみ（30 名）の稼働率が 99.5%となり運営基準違反や定員超過減算になる恐れがあった為、事業所の利用定員変更をおこない、令和7年8月からは[平日／通所介護 33 名、総合事業 7 名の合計 40 名]として運営しています。

### Ⅲ、サービス利用者の状況について

過去3年間の介護度別利用状況を示しています《資料③》。令和5年度からは感染症の影響が感じられなくなった頃です。令和6年度は月毎の延べ利用者数が800名を超える月は9か月程でしたが、令和7年度は全ての月で800名を超え3か月は900名を超えました。傾向としては要介護2・3のお客様の利用が増えていることがわかります。登録者数は伸びてないですが、一人のお客様の利用数が多くなっており、長く当事業所を利用され徐々に介護度も重くなっているケースが多く見られるようになっていきます。要支援1のお客様は新規相談で増加していますが、要支援2のお客様は要介護へと移行するケースが多く総合事業の利用数が減少している傾向となっています。

《資料③》



#### IV、基本サービス報酬と加算について

##### ① 基本サービス報酬について

令和 6 年度…57,019,290 円

令和 7 年度…61,824,860 円

サービス利用数の増加に伴い、基本報酬は昨年度比+8.4%となっています。

##### ② 入浴介助加算

令和 5 年…4712 回  $400 \text{ 円} \times 4712 \text{ 回} = 1,884,800 \text{ 円}$

令和 6 年…4999 回 (令和 5 年度より+ 6.0%)  $400 \text{ 円} \times 4999 \text{ 回} = 1,999,600 \text{ 円}$

令和 7 年…6247 回 (令和 6 年度より+ 24.9%)  $400 \text{ 円} \times 6247 \text{ 回} = 2,498,800 \text{ 円}$

年間延べ利用数は前年度よりも+4.2%ですが、入浴介助加算の件数は+24.9%と大幅増です。

自宅で入浴が可能なお客様が増えてはいますが、昨年度よりも要介護認定のお客様が増えたことや、要支援→要介護へ移行し入浴サービスを利用するなどニーズが増加したことも一因といえます。※当事業所は入浴介助加算Ⅱの算定を行っています。

##### ③ 運動器機能向上加算（事業対象者、要支援 1・2）と生活機能向上連携加算

令和 6 年度 運動器機能向上加算 ……廃止

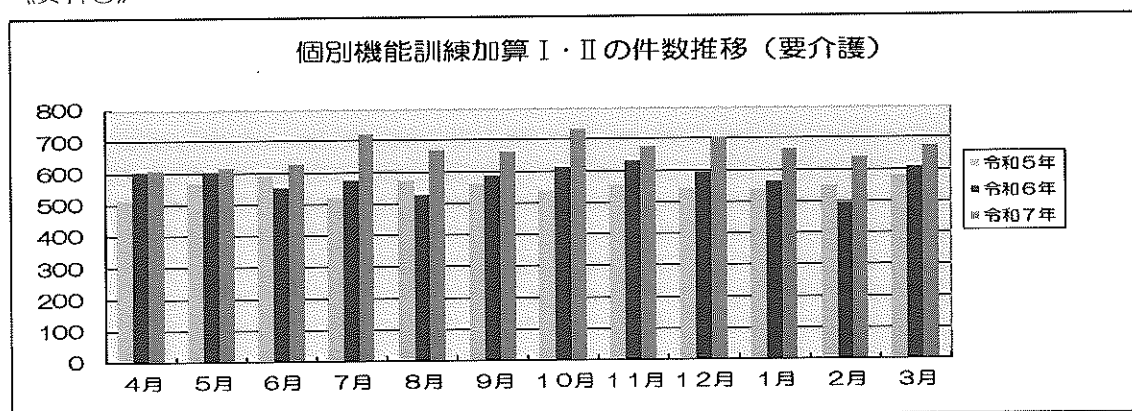
生活機能向上連携加算 …… $2,000 \text{ 円} \times 318 \text{ 回} = 636,000 \text{ 円}$

令和 7 年度 生活機能向上連携加算 …… $2,000 \text{ 円} \times 66 \text{ 回} = 132,000 \text{ 円}$

令和 6 年の報酬改定により運動器機能向上加算は廃止となりました。生活機能向上連携加算については、協力病院との契約が令和 7 年 6 月をもって終了したため以降は算定を取りやめています。

##### ④ 個別機能訓練加算

《資料④》



令和 5 年… 6,676 回

令和 6 年… 6,961 回 (令和 5 年度より+ 4.2%)

令和 7 年… 8,023 回 (令和 6 年度より+15.2%)

※個別機能訓練Ⅰ(イ)・(ロ)の総数

令和 7 年度

【個別機能訓練加算Ⅰ(イ)】 560 円× 325 回＝182,000 円

【個別機能訓練加算Ⅰ(ロ)】 760 円×7698 回＝5,850,480 円

【個別機能訓練加算Ⅱ】 200 円× 748 回＝149,600 円

令和 7 年度計 6,182,080 円 (令和 6 年度より+14.4%)

※令和 7 年度は客様の利用数が増えたことにより介護職員の配置人員が不足する事態が生じ、代わりに機能訓練指導員の配置を介護職員の配置へと振替することで機能訓練上位加算の機能訓練Ⅰ(ロ)の算定が出来ず下位加算の(イ)の算定をした営業日が増えています。ですが、全体の利用数が増えたことにより個別機能訓練加算の算定件数も比例して増加しています。

【生活機能向上連携加算Ⅱ】 1,000 円×175 回＝175,000 円 ※6 月迄の算定で終了

#### ⑤送迎減算

|           | 減算数     |         |         |
|-----------|---------|---------|---------|
|           | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 |
| 事業対象者・要支援 | —       | 14      | 12      |
| 要介護 1     | 69      | 114     | 33      |
| 要介護 2     | 50      | 58      | 61      |
| 要介護 3     | 0       | 5       | 81      |
| 要介護 4     | 1       | 5       | 6       |
| 要介護 5     | 0       | 0       | 0       |
| 合 計       | 120     | 196     | 193     |

通所利用時、送迎サービスを利用しなかった場合（家族送迎など）、片道－47 単位（470 円）が基本サービス費から減算されるものです。

470 円×193 回＝90,710 円 令和 7 年度の基本サービスの報酬から減算されています。

#### ⑥ADL 維持加算

|         | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 |
|---------|---------|---------|---------|
| 年間合計算定数 | 643     | 705     | 766     |

利用者（要介護）の ADL を評価・報告し一定の基準に達していれば算定できる加算です。令和 5 年度は上位加算の ADL 維持加算Ⅱの算定となっており（年度毎に条件を算出する）令和 6 年度は下位加算の ADL 維持加算Ⅰの算定。令和 7 年度も ADL 維持加算Ⅰの算定としています。

令和 5 年度《ADL 維持加算Ⅱ》 600 円×643 回＝385,800 円

令和 6 年度《ADL 維持加算Ⅰ》 300 円×705 回＝211,500 円 (令和 5 年度より－ 45.1%)

令和 7 年度《ADL 維持加算Ⅰ》 300 円×766 回＝229,800 円 (令和 6 年度より＋ 8.6%)

# V、目標の収入と実績について

| 収 入      |            |            |        |       |
|----------|------------|------------|--------|-------|
| 科目       | 予算額(補正後)   | 実績額        | 達成率    | 昨年度比  |
| 介護保険事業収入 | 86,000,000 | 86,319,583 | 100.3% | +9.6% |

| 支 出   |            |            |        |
|-------|------------|------------|--------|
| 科目    | 予算額        | 実績額        | 達成率    |
| 人件費支出 | 53,740,000 | 58,926,645 | 109.6% |
| 事業費支出 | 11,460,000 | 11,386,579 | 99.3%  |
| 事務費支出 | 4,170,000  | 3,259,546  | 78.1%  |

(人件費率 68.2%)

# VI、利用登録の状況について

## ①新規利用の経路

| 城島居宅 | 包括  | その他居宅 | 合計   |
|------|-----|-------|------|
| 12 件 | 6 件 | 7 件   | 25 件 |

## ②利用終了の事由

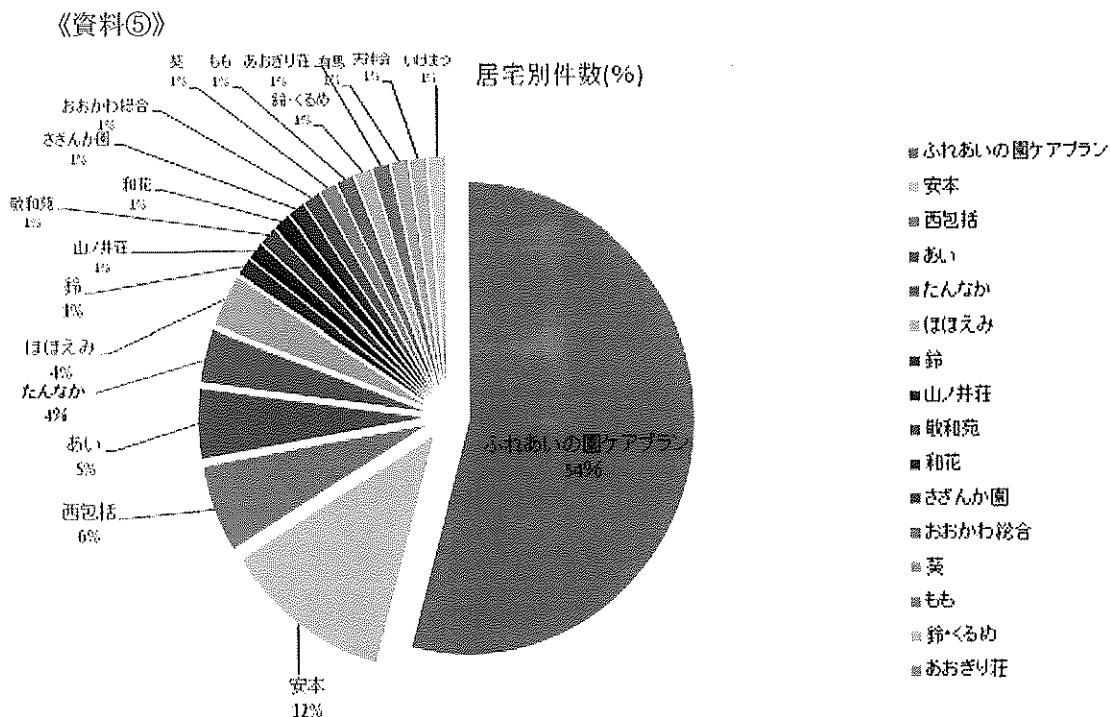
| 他界   | 特養<br>入所 | 長期<br>入院 | 長期<br>SS | 特定<br>入所 | 他施設<br>入所 | 本人<br>都合 | 他事業<br>所へ | 合計   |
|------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|-----------|------|
| 12 件 | 2 件      | 5 件      | 4 件      | 3 件      | 4 件       | 2 件      | 0 件       | 32 件 |

令和 7 年度中、他界や長期入院、入所などによる利用中止者が 32 名（昨年比＋12 名）。新規利用者 25 名（昨年比－2 名）のうち介護 16 名（うち 6 名は他事業所紹介）、総合事業 9 名。感染症による営業への影響は全くありませんでした。新規の相談件数及び利用者数は過去の実績と比較して標準的な水準です。年度末時点の要介護の利用者が 64 名、総合事業の利用者が 18 名で合計 82 名。年度末に他界や入所による利用終了が続き、利用登録者数の目標である 90 名を大きく下回る状況となっています。利用の状況を調整しつつ登録者数の増加と稼働率の維持を目指しています。

## ③居宅介護支援事業所等との連携について

新規利用者の獲得、登録者数の増加、売り上げの増加を目指すのであれば居宅介護支援事業所や地域包括支援センターとの連携が重要となります。次の円グラフ《資料⑤》に示していますが、久留米を中心に大川市や大木町、少ないですが神崎市の居宅介護支援事業所からも利用の依頼を受けています（令和 8 年 3 月時点のデータ）。

ふれあいの園ケアプランからの依頼で当デイサービスを利用しているお客様が全体の 54% と大半を占めています。当法人の居宅介護支援事業所の依頼を受けつつ、他の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターからの依頼を如何に伸ばしていくかが肝要と言えます。



## Ⅶ、令和 7 年度の取り組みについての評価

### ① ◎令和 7 年度の重点目標として以下の 3 点を挙げていました

#### i. 利用登録者数の増加と稼働率の向上

- ・ 前述したとおり利用登録者数は 90 名程度（R8 年 2 月時点）を維持していますが、新規利用と利用中止の件数がほぼ同数であるため全体の登録件数増加にまでは至っていません。今年度も体験利用のキャンペーンチラシを作成し、半径 10 km の範囲に所在する居宅介護支援事業所のケアマネジャー宛にダイレクトメールを送付し情報発信をしました。また、日常的に関わりがある町内外の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへの空き情報の提供や、通所内での取り組みや行事などの内容についても毎月の実績報告時に紙媒体でお知らせしました。年度中の 7 月～8 月頃は利用定員数を超えそうな状況であった為、利用定員の変更を行い調整をすることで定員超過せずに稼働率が上がるように運営しています。本部居宅介護支援事業所からの利用相談が主ですが、地域の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターからの新規利用相談も続いている状況ですので、引き続き積極的に広報活動に力を入れています。令和 6 年度の平均稼働率は 80.7%。令和 7 年度の 2 月実績時点の平均稼働率は 83.9% となっており稼働率は向上しています。今年度は一般家庭への広報チラシの新聞折込は実施しませんでした。

#### ii. 感染症対策と集団活動の両立

- ・ コロナウイルス感染症については夏ごろに職員家族の感染が 1 件。インフルエンザについても職員家族の感染が 1 件、利用者家族の感染が 1 件ほどで営業への影響はありませんでした。集団活動としてカラオケは実施しませんでした。感染対策を施したうえで唱歌などを皆で歌う活動を実施しています。また、ボランティア演芸を提供したいという団体の要請もあり



ハーモニカ演奏のボランティア演芸の受け入れ行いました。外部ボランティアの演芸を観たり、歌ったり演奏を聴いたりすることを暫く行っていなかったのが、今回の取り組みについてお客様に好評をいただいています。『カラオケをしたい』というお客様の要望が複数聞かれるため、次年度はカラオケの再開を計画します。

### iii.地域リハビリテーション活動支援事業（元気リハ・令和7年度事業）への参加・支援

- ・今年度は地域包括支援センターからの新規団体立ち上げの依頼はありませんでした。対外的な活動や支援として、当法人の在宅介護支援室が行う『足腰お元気教室』内での運動指導の依頼を受けて、当事業所の理学療法士が地域のサロン等既存団体へ赴いて運動の指導を行いました。また、江上校区の文化祭において、地域包括支援センター主導の介護講座イベントに出向き他施設と共同して介護予防についての啓発、広報活動を実施しました。今後も依頼があれば積極的に参加・活動の支援に協力したいと考えています。

## VIII、その他

- ・令和8年4月～令和14年3月迄の指定更新手続きの完了

指定通所介護及び久留米市介護予防・日常生活支援総合事業の指定更新手続きについて、手続き資料の提出及び運営指導を経て無事に指定更新することができました。軽微な改善指導はありましたが直ぐに対応することができており、介護給付費の返還等の事案は発生しませんでした。

## IX、令和7年度行事の実施状況

|        | 行 事                                                                                                                                              |         | 行 事                                                                                                                                                                                           |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和7年4月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜見（園庭）</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・ものづくりデイ（写真フレームづくり）</li> <li>・誕生会</li> </ul>                            | 令和7年10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスハイク（コスモス見物）</li> <li>・誕生会</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・避難訓練</li> <li>※避難訓練（職員・利用者）</li> </ul>                                                         |
| 令和7年5月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・母の日（写真のプレゼント）</li> <li>・バーベキュー</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・誕生会</li> <li>※『入浴介助研修』（職員）</li> </ul>          | 令和7年11月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスハイク（七木地蔵）</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・ものづくりデイ（クリスマスリ制作）</li> <li>・誕生会</li> <li>・『感染症予防研修』（職員）</li> </ul>                                             |
| 令和7年6月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・父の日（写真のプレゼント）</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・ものづくりデイ（夏野菜絵手紙）</li> <li>・誕生会</li> <li>※『虐待防止研修』（職員）</li> </ul> | 令和7年12月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス忘年会</li> <li>・餅つき（合同）</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・ものづくりデイ（クリスマス or 正月飾りづくり）</li> <li>・誕生会</li> <li>・餅つき（法人全体）</li> <li>※『身体拘束防止研修』（職員）</li> </ul> |
| 令和7年7月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕飾り（短冊・飾り付け）</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・レクリエーション大会</li> <li>・誕生会</li> <li>※『災害BCP研修』（職員）</li> </ul>     | 令和8年1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初詣（玉垂宮）</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・誕生会</li> </ul>                                                                                                     |
| 令和7年8月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・誕生会</li> <li>※『倫理・法令遵守研修』（職員）</li> </ul>                                  | 令和8年2月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・節分</li> <li>・ものづくりデイ（ひな飾りづくり）</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・誕生会</li> <li>※新規採用職員研修（職員2名）</li> <li>※『介護予防研修』（職員）</li> </ul>                               |
| 令和7年9月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老祝賀会</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・誕生会</li> <li>※『認知症・認知症ケア研修』（職員）</li> </ul>                              | 令和8年3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜見（園内で鑑賞）</li> <li>・シアターデイ</li> <li>・誕生会</li> </ul>                                                                                                   |

# 令和 7 年度 ケアハウス ふれあい荘 事業報告書

## 1. 概要

入居者の高齢化に伴い、要介護認定を受ける入居者は増加傾向にあります。要支援・要介護状態になっても、外部サービスや特定施設入居者生活介護サービスなどを利用しながら、ケアハウスでの生活を継続できるよう支援してきました。

令和 7 年度の入居は、特定利用者 4 名 一般入居者 3 名 退居は特定利用者 3 名 一般入居者 3 名でした。

退居後の居室清掃業者との連絡、日程調整もスムーズに行う事ができました。

レクリエーション活動では、車イス対応の方や歩行に付き添いを要する方が増え、参加されない方もあり近場での外出となりました。職員不足もあり他部署からの応援を得て行いました。

おやつ作りでは、入居者の手伝いが少なくなり職員主体の行事となりました。

特定利用者の転倒事故が多発し、予防策として毎日の体操や福祉用具（介助バーやポータブルトイレ）の設置、歩行補助具の貸し出しを行いました。

## 2. 7 年度の利用状況と実績

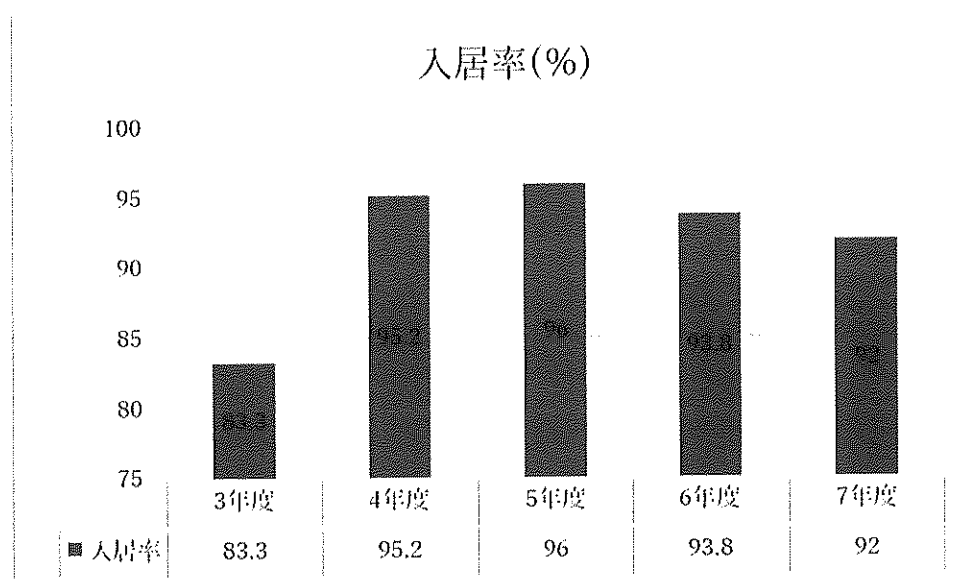
・令和 7 年度 年間入居率 = 92%

一般・・・153 名(平均 12.7 名) 特定・・・180 名(平均 15 名) 合計・・・333 名(平均 27.7 名)

3 年度・・・(25 名) 4 年度・・・(28.5 名) 5 年度・・・(28.7 名) 6 年度・・・(28 名)

※年間入居率は、入居者が満員になった状態が 1 年間続いた時の人数（30 名×12 か月＝360 名）を 100%とします。

入居者平均年齢 平均年齢 89.1 歳（男性 82.8 歳 女性 90.1 歳）



#### 入居申し込み状況 R7年度（20件）

| 月  | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 |
|----|-------|-------|---------|-------|
| 人数 | 7名    | 7名    | 4名      | 2名    |

前年度は13件でした。入居問合せは居宅支援事業所、病院、家族からの問い合わせがほとんどでした。一般入居の申し込みが多数あり特定利用の申し込みは数件でした。

### 3.事業実施計画に対しての具体的な評価

#### ① 入居者の安心・安全な生活の支援及び職員との交流

- ・入居者の緊急連絡の手段として居室内にコールボタンが2か所設置してありますが、緊急時に作動するように毎月の点検、修理、交換を行い緊急時に対応出来るように取り組みました。
- ・入居者からの悩みや不安の相談があれば、その都度対応し安心して日常生活が送れるように支援しました。

#### ② 入居者の楽しみとなるようなレクリエーションの取り組み

- ・外出行事に意欲的に参加する方が減り高齢のためか体力的にも難しくなりました。
- ・工作や手芸を試みましたが特定利用者はほとんど参加されず一般の方も数人に限られました。
- ・週4回リハビリ体操を開催していましたが大浴日が週2回から週4回になり午後からのリハビリ体操の実施が少なくなり行事の日程も組みづらくなりました。
- ・青木小学校3年生の慰問があり、ゲーム大会や会話をされ楽しめました。今後も交流を継続していきたいと思います。

#### ③ 入居者30名の確保とケアプランの見直し、他職種連携について

- ・入居者獲得の対応として、ホームページや空き情報のお知らせ（居宅事業所、病院、市役所、民生委員、デイ広報誌）を行う事で問合せは増えました。
- ・特定者のプランにつきましては、本人、家族の要望を取り入れ、その人らしく生活ができるよう支援致しました。入居者の状況により、介護保険認定の手続きやプランの見直し区分変更を行い、介護が適切に受けられるよう実施致しました。（区分変更8名）
- ・他職種連携では、居宅事業者や病院、施設の関係者との情報共有や連携を図る事により、入退居、入退院、介護サービスの提供をスムーズに行う事ができました。

### 4. 収支状況

#### 令和6年度

| 収入      | 6年度目標数      | 6年度実績       | 達成率   |
|---------|-------------|-------------|-------|
| 利用者延べ人数 | 360名        | 338名        | 93.8% |
| 総収入     | 75,000,000円 | 70,867,752円 | 94%   |

#### 令和7年度

| 収入      | 7年度目標数 | 7年度実績 | 達成率 |
|---------|--------|-------|-----|
| 利用者延べ人数 | 360名   | 333名  | 92% |

|     |              |              |      |
|-----|--------------|--------------|------|
| 総収入 | 78,000,000 円 | 79,802,145 円 | 102% |
|-----|--------------|--------------|------|

※補助金返金分（5 月）930,000 円

実績 78,872,145 円 達成率 101% 収益 872,145 円

## 令和 6 年度

| 支出    | 予算額          | 実績額          | 執行率 | 人件費比率        | 職員増減数 |
|-------|--------------|--------------|-----|--------------|-------|
| 事業費支出 | 12,510,000 円 | 11,921,194 円 | 95% | 48,091,095 円 | 増 0 名 |
| 事務費支出 | 4,713,000 円  | 3,848,754 円  | 82% | 97%          | 減 0 名 |

## 令和 7 年度

| 支出    | 予算額          | 実績額          | 執行率   | 人件費比率        | 職員増減数 |
|-------|--------------|--------------|-------|--------------|-------|
| 事業費支出 | 13,490,000 円 | 11,947,481 円 | 88.5% | 56,829,379 円 | 増 0 名 |
| 事務費支出 | 4,710,000 円  | 4,167,348 円  | 88.4% | 99%          | 減 0 名 |

・令和 6 年度総収入 70,867,752 円に対し令和 7 年度総収入 78,872,145 円  
増収額 8,004,393 円

・増収の理由としては、特定利用者の人数や介護度、階層の高い入居者の受け入れを行った事で増収が高くなりました。

・職員数・・・常勤名（相談員 1 名、看護師 2 名、介護員 6 名）計 9 名

※12 月下旬より介護員 1 名膝の手術のため 4 月まで休職。

## 5. 運営

### 1-1・・・日常生活相談（相談、苦情）

（苦情件数 2 件）

- ・入居者家族よりケアハウスを退居され（入居期間 1 年）居室清掃代（畳表替え、ワックス掛け）について尋ねられる。畳を交換するならフローアーマットは購入しなくてもよかったのではないですかと事務員、ケア職員へ不満気味に話される。  
居室での転倒が続く畳の部屋は滑りやすく転倒予防のためシルバーカーを押して靴のままベッドまで行き来できるように購入前に説明していた。その後、車イス、ポータブル使用になられ尿汚染やお茶こぼしがあっても防水加工のため清潔保持が保てる事を説明する。畳替えは 3 か月以上入居された方は畳替えを行っている事を説明すると半納得されました。
- ・他入居者（男性）が 1F ロビーのテレビのリモコンを独占され観たいテレビが観られないと苦情

がありました。

男性入居者へ公共用のテレビでありリモコンの独占は控えてもらうように説明していたが一向に理解してもらえなかったので公共用のテレビリモコンは事務所で管理する事を本人へ伝え他入居者へも説明書きを掲示し対応しました。その後は特に苦情や不満はありませんでした。

### 1-2・・・事故報告

(事故件数…59件)

- ・ 前年度に比べ、事故発生件数が 19 件増加しました。
- ・ 居室内での転倒事故が多数を占めていました。
- ・ 一般入居者の事後報告があるも正確な詳細がわからない事がありました。
- ・ 入居者の高齢化に伴う、身体機能低下による事故が発生しました。
- ・ コールを事前に押す事や、不安な場合には職員へ相談してもらう事で、事故を防げた事例もありました。
- ・ 離園がありましたが早めに気付いた事で大事には至りませんでした。

(事故内容)

- ・ 転倒 49 件 ・ 熱傷 3 件 ・ 外傷 3 件 ・ 離園 2 件 ・ 座り込み 1 件 ・ 骨折 1 件

(対策について)

- ・ 事故防止委員会を開催、実施致しました。ヒヤリハット活用で職員全体が内容を共有し事故防止につなげました。一般入居者からの事故については、事後報告があり発生後は速やかに報告して頂くように説明しました。転倒防止予防のため館内では靴を着用して頂くよう徹底し声掛けを行いました。転倒リスクがある方には事前に家族へ説明を行い福祉用具の活用や巡回の頻度を増やしました。
- ・ 離園防止として朝は、日勤者が出勤し自動扉の電源を入れ解除し、離園の可能性のある方には施設全体での協力を得るため顔写真入りの情報を共有しました。
- ・ 一般入居者の生活のなかで火傷が続いた事で家族、CM と相談し原因であるポットを家族より引き上げられ水筒を使用してもらうようにしました。

一般入居者…18 件

| 月    | 4 月～6 月 | 7 月～9 月 | 10 月～12 月 | 1 月～3 月 |
|------|---------|---------|-----------|---------|
| 事故件数 | 2 件     | 7 件     | 3 件       | 6 件     |

特定入居者…41 件

| 月    | 4 月～6 月 | 7 月～9 月 | 10 月～12 月 | 1 月～3 月 |
|------|---------|---------|-----------|---------|
| 事故件数 | 2 件     | 7 件     | 18 件      | 14 件    |

### 1-3・・・職員の資質向上

職員の知識や質の向上を図るため、以下の研修に参加致しました。

- ・ 内部研修・・・事故防止、接遇、身体拘束・虐待、感染症
- ・ 外部の研修参加が少なく来年度は多くの外部研修に参加したいと思います。

#### 1-4・・・行事について

- 4月 日の隈公園花見、大木町イオンショッピング
- 5月 町内散策（やぎ、うさぎ）
- 6月 回転寿司
- 8月 映写会、かき氷
- 9月 敬老会
- 10月 ミニ運動会
- 12月 クリスマス忘年会、餅つき 青木小学校慰問
- 1月 初詣、ゲーム大会
- 2月 節分 おやつ（おしるこ）レク体操（施設長）
- 3月 おやつ（スイートポテト）ハーモニカ演奏

※その他行事・・・誕生会、散髪、ショッピング、代行ショッピング

施設長よりおやつ作り（おしるこ）の提供があり皆さん喜んでありました。

今後も工夫しながら入居者が楽しんで参加してもらえる企画を実施して行きたいと思います。

#### <環境整備・購入>

福祉用具（立ちUP）購入

105号、111号、2F小浴水漏れ修理

1F汚物洗い場フラッシュバルブ交換

食堂（洗面台上）防災レースカーテン

食堂厨房内ガス給湯器交換

入居者ベッドリモコン交換

1F洗濯室衣類乾燥機スタンド交換

大浴室赤外線ヒーター設置

103号室トイレ手すり工事

2F廊下エアコン修理

1Fロビーエアコン取り換え工事

#### <感染対策について>

本年度も、職員、入居者の検温、館内消毒、手洗い、マスク着用、食事時間の分散の継続等、感染対策に取り組みました。面会については、昨年度からの30分の面会時間を継続し、居室での面会や家族以外の方の面会を許可するなど、感染状況を見ながら、柔軟に対応しました。

本年度は、9月に1名の入居者が新型コロナウイルスに感染しました。これまで、外泊後は3日間の居室隔離を行っていましたが、本件はクルーズ船旅行から帰宅後5日目の発症であった為、長期の外泊や、遠方、クルーズ船など不特定多数の方との接触が考えられる方に限り、7日間の居室隔離に変更しました。今回も感染対策を徹底させることで、感染拡大を防ぐ事が出来ました。

今後も入居者の健康管理に努め、感染症の早期発見、対策に努めて参ります。

# 施設入居者生活介護事業報告書

## 1. 概要

令和7年度も「明るく、楽しく、安心・安全に過ごしましょう」といったテーマを掲げ、職員一同業務に取り組んで参りました。

7年度に4名の新規特定利用者があり3名の退居がありました。一般入居から特定利用へ移行された方が2名。特定利用者5名の入院がありました。

前年度に比べると40名の増加利用がありました。

入居者、一人ひとりに合った介護サービスを提供する事で、その人らしい日常生活を送る事が出来たと思われまます。

## 2. 7年度の利用状況と実績

収支報告 (介護保険事業収入)

|     | 予算           | 実績           | 達成率  |
|-----|--------------|--------------|------|
| 6年度 | 26,430,000 円 | 25,361,790 円 | 96%  |
| 7年度 | 29,040,000 円 | 35,167,900 円 | 121% |

前年度(令和6)に比べ介護保険収入が増加致しました。特定利用者の利用人数が増えた事が収入アップに繋がりました。 **9,806,110 円増**

特定利用者の介護度、延べ人数 (6年・7年度比較)

| 介護度 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 合計(名) |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 6年度 | 3   | 38  | 44  | 49  | 9   | 2   | 0   | 145名  |
| 7年度 | 4   | 17  | 73  | 62  | 25  | 4   | 0   | 185名  |

利用平均数 令和6年度(12名) 令和7年度(15名)

**特に要介護1から要介護3の利用者の数が増えました。**

### 2-1・・特定施設入居者生活介護利用状況

入浴・排泄等の身体介護では、ケアプランに基づく個別対応・計画・評価により適切なサービスの提供が行えるよう取り組んで参りました。また、入居者が高齢になっても安心・安全に生活できるよう、心身状態の把握を行い、職員間の情報共有及び家族、関係機関との連携を行い適切な支援に繋げて行きました。

7年度は、6年度に比べ入居率が増加しました。介護状態が中度、重度の方の利用が増え車イスやポータブルトイレ利用の方が多くなり認知機能低下の入居者も増えました。認知症の方への対応時間も増えました。



## 2-2・環境整備

入居者の高齢による下肢筋力（体力）低下により、居室での転倒が増加傾向にありました。

そのため、転倒の危険性がある方には、居室内の環境整備や日頃の行動を観察し危険、予知を高め、歩行不安定の方には、歩行補助具を貸し出し転倒防止に努めました。

立位や移動に介助を要する入居者には、居室に介助バーを設置する事で立位が安定し移譲がスムーズに行われました。

転倒の危険性がある方には、フロアーマットを敷く事で畳部屋とフロア間の境目をなくし、そのまま車イスや靴での行き来が出来るようにしました。

## 2-3・特定施設介護サービス計画

- ・介護計画の作成については、入居者の生活状況、身体機能、精神面から評価を行い、入居者家族の意見を含め、担当者会議を開催しました。

- ・介護サービス計画については、身体状況・精神状況の変化時、または介護保険の更新時期の見直しや区分変更を行い入居者のニーズに沿ったプラン作成を行いました。

### <今後の課題>

#### ① 入居者の安全・安心な生活の支援、及び不利のない入居者への対応

- ・悩みや訴えを気軽に相談できる関係性を築き、日常的な会話や傾聴を行う事により、信頼関係を更に深めて行く必要があります。
- ・環境整備や職員による注意喚起を促し、事故防止に努めます。事故防止検討委員会や研修を行う事で、職員の意識の向上を図りリスクの軽減に努める必要があります。
- ・入居者にとってどのような支援や援助方法が適切であるかを見極め、職員が協力し合い問題解決に取り組んでいきます。

#### ② 多彩なレクリエーションの実施、継続

- ・多くの人が参加できる行事、入居者同士が楽しめる行事、個別で楽しめる行事を実施していきます。
- ・アンケートを行い、入居者が興味のあるレクリエーションを実施していきます。
- ・外出行事を増やす事で、季節感を感じ気分転換を図る事で日常生活にも活気が期待できるようにします。
- ・身体機能低下の予防として機能訓練及び体力増進の強化に努めていきます。

#### ③ 他職種連携のとれた体制作り

- ・他職種との連携を図り、本人にとってより良いサービスの提供、支援、実施を行うと共に入居者がスムーズにサービスが受けられる体制作りを目指します。
- ・日頃から、情報共有を行う事で多職種との信頼関係の強化を図っていきます。

#### ④ 入居者獲得と業務の効率化・負担軽減

- ・業務の効率化、負担軽減を行うために、安定した職員の確保、入居者が自分で出来る所を増やし自立に向けた支援を行う事で負担軽減を図っていきます。

- ・ 今後、特定利用者の重度化が進んでくなく、ケアハウスでの生活が困難になられた場合には、本人、家族の意向に沿いその人らしく生活ができる施設の紹介等を行っていきます。更に特定利用者を優先的に受け入れる事で入居者獲得に繋げていきます。2F はスロープがあり車イス等の移動は不便なため一般入居者の受入れを行いたいと思います。

- ・ 記録の簡素化や小浴、巡回、排泄、夜勤帯の業務を見直す事で業務負担の軽減を図る事ができました。

- ・ 12 月中盤から 4 月後半まで職員 1 名膝の手術により休職されました。その間、他部署の職員の応援や派遣職員の採用により職員不足の解消ができました。

⑤ その他 一般入居者より

- ・ 特定利用者の人数が増え車イスの方や認知機能低下の方が多くなり一般入居者よりケアハウスに居りづらくなったと疎外感を感じられる意見もありました。

日中、ロビーで過ごされていた方々も徐々にロビーに来られる頻度が少なくなりました。

⑥ 職員確保

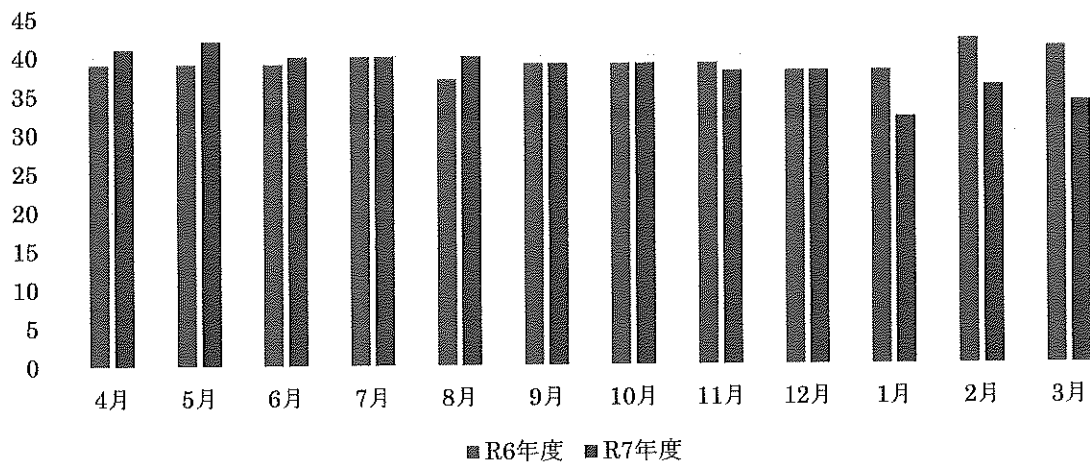
- ・ 現在、ケアハウス職員 9 名の内 6 名が 60 歳以上で持病（呼吸器、腰痛、膝痛）があったり体力的な面もあり、いつ退職されてもおかしくない状況です。夜勤も 6 名で対応し負担も多くなっています。職員の増員が必要と思われます。

# 令和 7 年度事業報告

## ふれあいの園ホームヘルプ事業

介護保険において、介護が必要となられた利用者に対し、可能な限りその居宅において、有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るよう、居宅サービス支援計画をもとに訪問介護計画を作成し、身体介護、生活援助、総合事業のサービスを提供いたしました。

月別利用登録数



### ① 令和 7 年度の利用状況と実績

今年度も空き状況を居宅支援事業所や包括支援事業所へ配布を行いました。

今年度は前年度を 11 名程下回る登録者数となりました。

### ② 事業実施計画に対しての評価

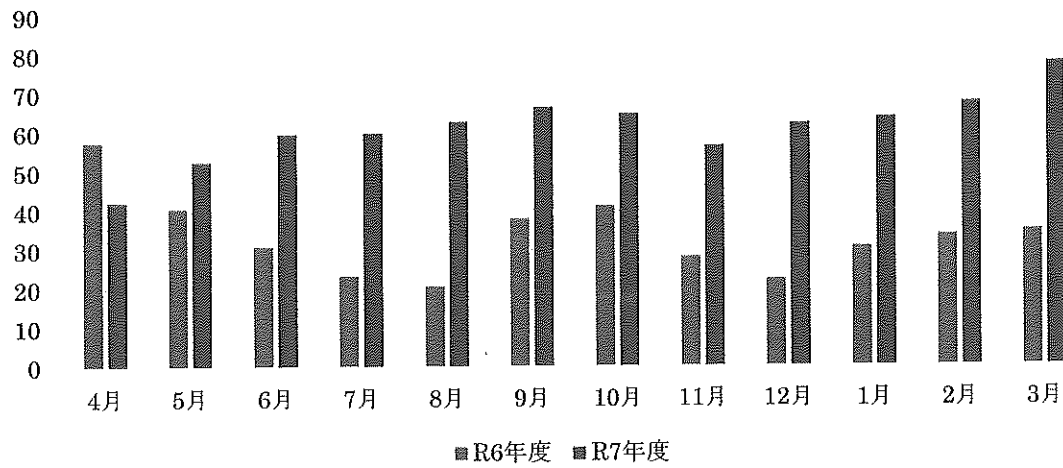
(1) 研修会を実施し認知症や身体介護が必要な方などに対する介護能力の向上を図る

身体介護は前年度を上回り今年度は月平均 61.5 時間で、前年度と比較すると月平均で 28.5 時間増でした。

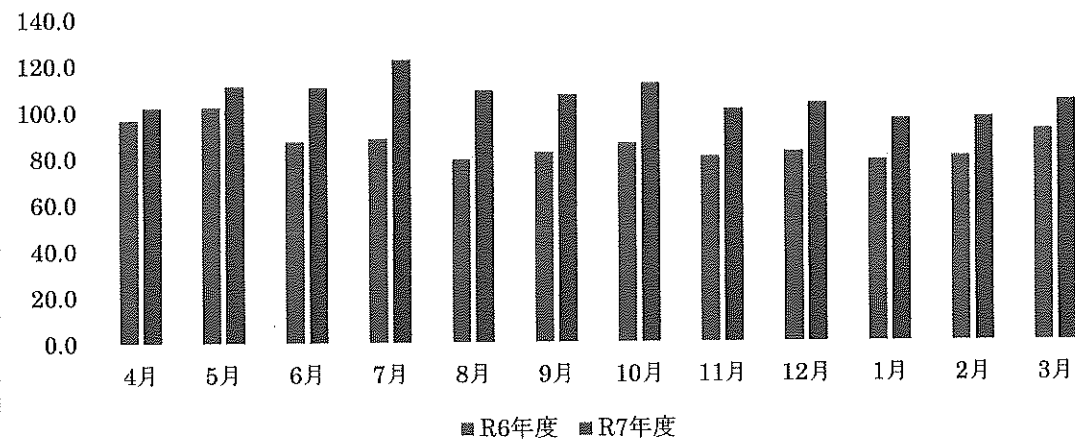
生活援助は前年度を上回り今年度は月平均で 106.1 時間、前年度と比較すると月平均で 20 時間増でした。

総合事業は前年度を下回り今年度は月平均で 83.1 時間、前年度より月平均で 31.6 時間減でした。

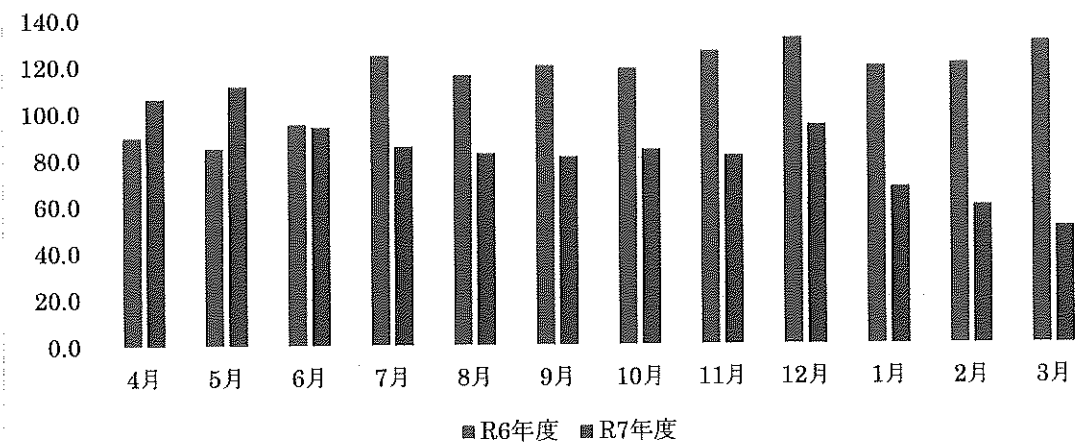
### 身体介護利用時間数



### 生活援助利用時間数



### 総合事業



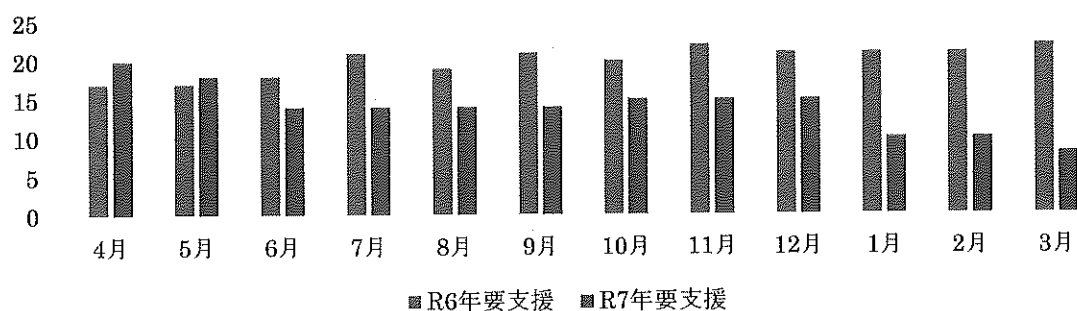
(2).活動地域内での利用者を増やす。

(2)ー 1

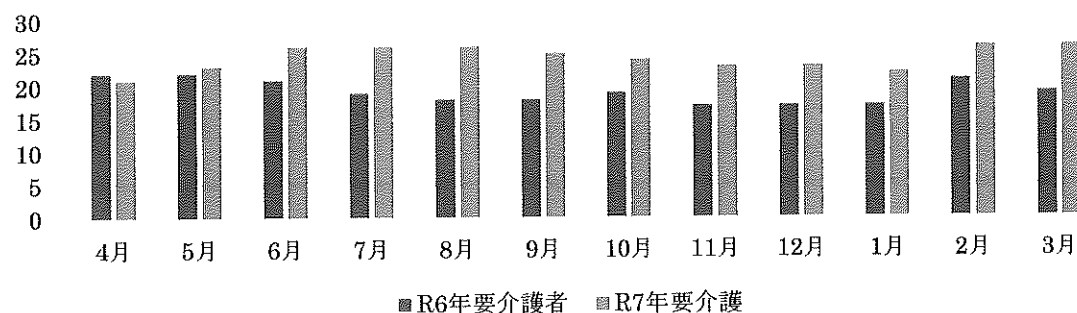
空き状況を居宅介護支援事業所や包括支援センターなどの関係機関に配布を行い利用者増加に努める。

R7年度は、14名の新規利用登録がありました。(要介護者12名、要支援者2名)

### 要支援



### 要介護

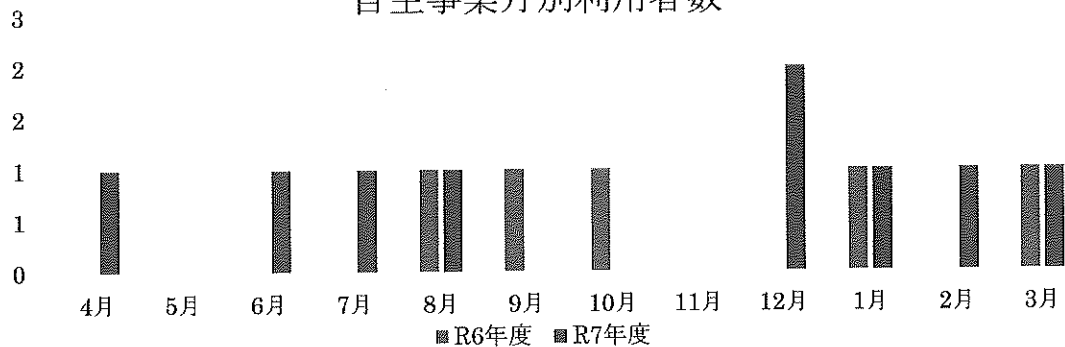


(2)ー2

介護保険は対応出来ないニーズに対して自主事業訪問介護を提供し利用者の満足度向上をはかる。

R7年度の利用数はのべ9名でした。内容は介護保険では適用されない掃除の支援や受診の付き添いでした。

### 自主事業月別利用者数



#### ③令和7年度事業計画に対する数値目標達成率

年間収入目標 12,000,000 円に対し年収入 11,801,590 円で達成率 98.3%でした。

年間支出予算 11,360,000 円に対し年間支出 12,203,718 円で 7%増でした。

##### <収 入>

| 科 目          | R7 年度目標数   | R7 年度実績    | 達成率   |
|--------------|------------|------------|-------|
| 利用のべ人数(訪問回数) | 552        | 459        | 83.1% |
| 介護保険事業収入     | 12,000,000 | 11,801,590 | 98.3% |

##### <支 出>

| 科 目   | R7 年度目予算     | R7 年度実績    | 執行率    |
|-------|--------------|------------|--------|
| 事務費支出 | 390, 000     | 316,360    | 81.1%  |
| 事業費支出 | 390, 000     | 436,322    | 111.8% |
| 人件費支出 | 10, 580, 000 | 11,451,036 | 108.2% |

#### (総括)

令和7年度、全体の登録者数は前年度より11名少ない登録ですが今年度は要介護の登録数が増え要支援の登録数が減った為、身体介護や生活援助の利用時間が増加し総合事業の利用時間が減少した結果、収入は、前年度比118.4%の達成率でした。

今年度も目標達成の為に登録利用者を増やす必要があります。同一法人以外の居介護宅支援事業所や包括支援センターに対し、サービス提供の空情報のチラシを作成し情報発信に努めたいと思います。又、今後も、現行サービスの提供を引き続き維持出来るように介護能力向上の為に研修を行いたいと思います。しかし、ヘルパーも高齢化しており供給できる人数に限りがあります。常勤・パートの稼働を上げる為に現在取り組んでいる内容(変更可能な利用者に対し、曜日や訪問時間変更の了承を頂く事で稼働を上げる)は継続していきますが職員を増員して頂かないと事業継続が困難な状況になっています。

## 令和7年度 在宅支援室事業報告書

在宅支援室は、昨年に続き介護・福祉・医療の総合相談窓口及び、校区サロンや老人会等の出前講座、配食サービスを中心とした地域貢献を主に活動して参りました。

地域活動については、年間を通じてサロン活動における定期的な講師派遣依頼や老人会での行事の一環として出前講座を活用頂くなど、依頼が増えてきている状況です。また、出前講座の際にレクリエーションなど簡単な道具などを用い、ボランティアさんでも気軽にできる内容にすることで、次の活動で上手く活用頂くケースなどもありました。

今後も、地域の皆さまが住み慣れた場所で安心した在宅生活が送れるよう、各事業所や関係機関と連携し、支援を行って参りたいと思います。

### 重点目標に対する実績及び評価

#### 1, 地域（校区）の抱える課題及びニーズを抽出し、必要とされる地域（校区サロン、老人会等）の支援、新たな校区活動の推進と社会資源の構築

令和7年度は、昨年に続き出前講座に関するご相談及び講師派遣は増加傾向となり、少しずつではありますが、介護予防に対する取り組みや認識も徐々に広がってきているように感じられました。出前講座後には、介護保険サービスなどのご相談もあったため必要な情報を適宜お伝えできる場にも繋がっていると思います。

在宅支援室の役割として、今後も介護予防への取り組み支援及び介護や福祉サービスが必要な方、そのご家族の相談窓口機能を充実化できるよう努めていく必要があると思います。

#### 〈活動実績件数〉

|                | 令和6年度 | 令和7年度 |
|----------------|-------|-------|
| 訪問件数           | 14件   | 15件   |
| 相談件数           | 41件   | 56件   |
| 代行申請           | 2件    | 0件    |
| 居宅移行           | 1件    | 0件    |
| 出前講座（ふれあいの園独自） | 18件   | 30件   |

\*出前講座申し込み31件（うち1件老人会活動都合のためキャンセル）

\*相談件数56件の内訳として、配食新規相談契約件数17件、出前講座相談34件、介護福祉サービス等相談5件となっております。

## 城島町出前講座

町内事業所連携による出前講座は、令和6年度に続き町内事業所における人員不足等の問題もあり、積極的な広報活動を控えて参りました。町内事業所及び地域包括支援センター等と情報共有、連携を行うことで地域の課題抽出や各事業所間の交流にも繋がるため、今後も各事業所の状況を考慮しつつ、総合相談及び受付窓口としての機能を継続して参りたいと思います。

＊令和7年度城島町出前講座依頼1件（グループホームこころさんへ依頼）

## 2. 充実した配食サービスの提供

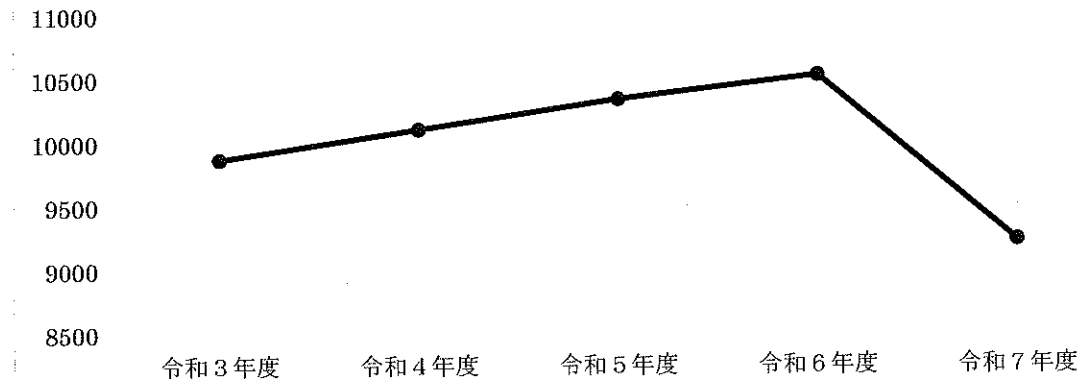
令和6年度と比較し、配食サービスの収益は減少しております。収益減少の理由として、配食の相談や年間契約件数については大きな差はありませんが、ご利用が短期間（献立や減塩食を知りたい）であったこと、入院や施設入所などによる長期ご利用者の登録解除、人材確保や配達ルート上の問題などがあげられます。今後は物価高騰なども含め料金の見直し、人材不足や配達ルート上の問題も考慮しつつ、広報活動も行いながら新規ご利用者の受け入れができるよう努めて参りたいと思います。

過去5年間の配食サービス実績については下記の表の通りです。

|       | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計      |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 令和3年度 | 859 | 909 | 924 | 875 | 742 | 814 | 817 | 788 | 894 | 782 | 607 | 864 | 9,875  |
| 令和4年度 | 802 | 794 | 770 | 839 | 903 | 832 | 904 | 920 | 893 | 811 | 782 | 880 | 10,110 |
| 令和5年度 | 811 | 903 | 895 | 950 | 950 | 834 | 801 | 783 | 885 | 749 | 877 | 903 | 10,341 |
| 令和6年度 | 951 | 925 | 893 | 945 | 850 | 897 | 996 | 988 | 810 | 766 | 705 | 800 | 10,526 |
| 令和7年度 | 796 | 809 | 694 | 795 | 744 | 749 | 933 | 792 | 739 | 713 | 703 | 761 | 9,228  |



### 配食サービス過去5年間実績



\*令和6年度配食収入 5,090,300 円、令和7年度配食収入 4,497,000 円（前年比 593,300 円減）

\*配食サービスは、一食 500 円（おかずのみ 450 円）にて提供しております。

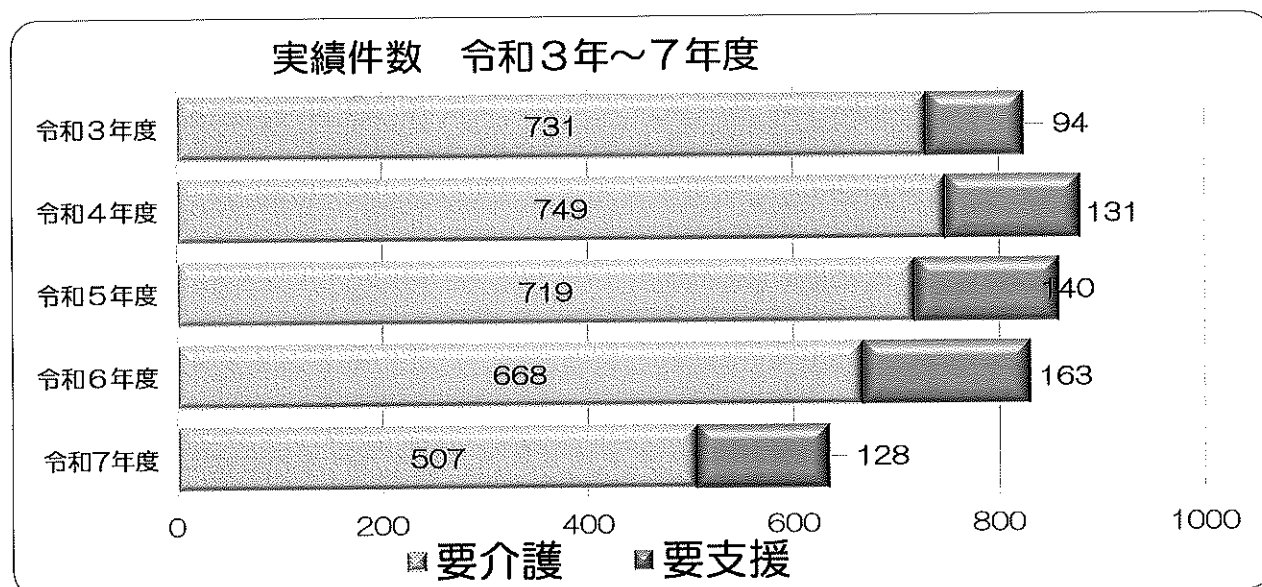
### 3. ふくおかライフレスキュー事業（生計困難者への総合支援等）への参加

レスキュー事業の実施にあたっては、福岡県社会福祉協議会、久留米市社会福祉協議会、民生委員・児童委員等の関係機関・団体等との連携を図りながら実施する仕組みとなっておりますが、令和7年度におけるご相談は発生しておりません。

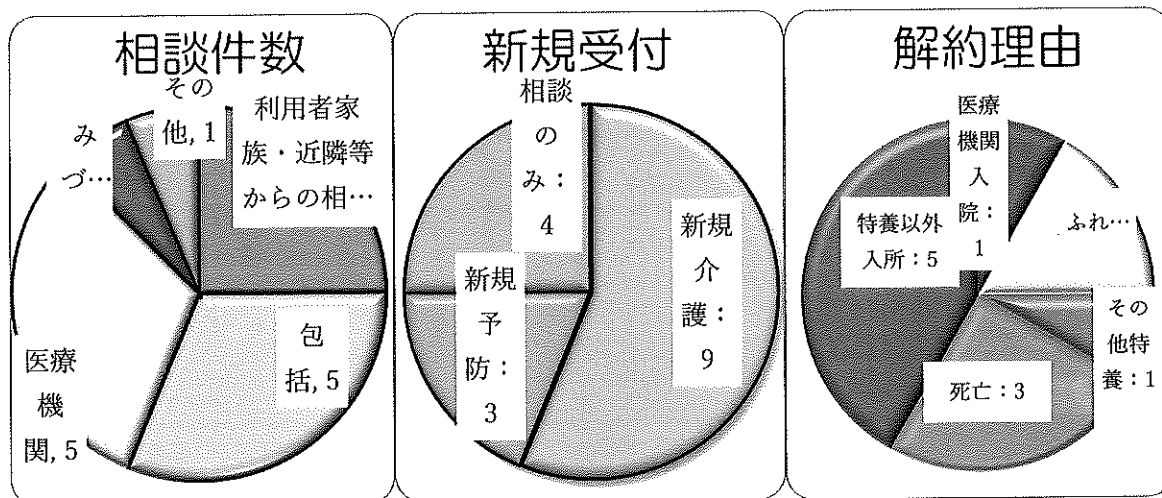
## 令和7年度ふれあいの園みづまケアプランサービス事業報告書

- ① 令和3年～令和7年度の実績件数
- ② 収支状況について
- ③ 評価（事業所閉鎖に伴う利用者等への対応等について）

みづま館の各事業も縮小し、（令和5年度に認知症対応型通所介護、令和6年度に小規模多機能型居宅介護が廃止）事業所の運営継続が困難となり、令和8年1月末を持って、ふれあいの園みづまケアプランサービスの事業を廃止する事となりました。



| 令和7年度の実績数                  |           |         |
|----------------------------|-----------|---------|
| 介護支援専門員(2名) ※令和7年4月～令和8年1月 |           |         |
| 利用者延べ人数                    | 介護        | 予防      |
| (10か月分)                    | 507人      | 128人    |
| 月平均利用者数                    | 50.7人     | 12.8人   |
| 収入                         | 6,188,460 | 520,440 |
| 事業活動収入                     | 6,695,768 |         |



※令和7年度は、新規の相談に16件対応しました。(11月から、新規の受け入れを休止)

#### 利用者の地域別分布について

・令和6年度と同様に、三潨と城島の利用者が過半数を占め、大善寺・荒木・安武の西圏域全体と佐賀方面の一部の利用者分布に変化はありませんでした。

#### 新規相談経路について

地域包括支援センターや病院からの紹介など、可能な限りで新規の相談の受け入れを行っていた状況でした。

#### 事業実施計画に対しての評価

三潨周辺の地域の中で、随時新規の相談に対応できるように活動を継続しておりましたが、2名体制では新規の相談に対応する事が困難な状況もありました。

◎令和8年1月末の事業所廃止に伴い、利用者総数73名(予防16名・介護57名)の方々に丁寧な対応を心がけ、希望される居宅介護支援事業所(久留米西地域包括支援センターを含めて、15か所)へ申し送りとし引き継ぎを完了いたしました。

(廃止後も本部への電話転送等の協力体制もあり、関係事業所からの苦情もありませんでした)

研修に関しては、内部の研修等で法令遵守を適切に行えるように対応しました。

#### ・内部研修

必要時の事業所内でのケース検討等  
感染症対策の研修(随時)

#### ・外部研修等

集団指導(オンライン)  
高齢虐待防止研修(オンライン)

| 支出    | 予算額       | 実績額       | 執行率    | 人件費 |               |
|-------|-----------|-----------|--------|-----|---------------|
| 事業費支出 | 310.000 円 | 398.015 円 | 128.3% |     | 9. 526. 565 円 |
| 事務費支出 | 540.000 円 | 393.913 円 | 72.9%  |     | 84.1%         |

# 令和 7 年度 事業報告

ふれあいの園就労継続支援B型事業所

## ① 令和 7 年度の利用状況

※令和 7 年度の利用契約者は 6 名、うち 3 名は契約解除となり現在 3 名が就労しています。  
3 名のうち 1 名は区分 6 の車椅子の方ですが、積極的に作業に取り組まれています。  
1 名に関しては一般就労へのステップアップを目標としての取り組みを行っています。

## ② 研修について

特養研修にあわせて感染対策や虐待防止の研修に参加

## ③ 収支の状況について

令和7年度 ふれあいの園就労継続支援B型 収支計算

|          | 4月分      | 5月分      | 6月分      | 7月分      | 8月分      | 9月分      | 10月分     | 11月分     | 12月分     | 1月分      | 2月分      | 3月分      | 合計         |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|
| 国保連 R5年度 | ¥126,190 | ¥157,530 | ¥149,150 | ¥142,050 | ¥156,360 | ¥227,830 | ¥244,710 | ¥158,690 | ¥142,050 | ¥134,940 | ¥149,150 | ¥142,050 | ¥1,930,700 |
| 国保連 R6年度 | ¥183,840 | ¥192,210 | ¥180,440 | ¥193,820 | ¥160,110 | ¥234,720 | ¥240,290 | ¥222,210 | ¥266,090 | ¥233,700 | ¥238,090 | ¥237,880 | ¥2,563,400 |
| 国保連 R7年度 | ¥349,240 | ¥482,680 | ¥437,400 | ¥288,010 | ¥402,930 | ¥460,980 | ¥468,980 | ¥334,690 | ¥304,080 | ¥321,580 | ¥330,690 | ¥358,810 | ¥4,540,050 |
|          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          | 経費代金       |
|          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          | ¥66,600    |
|          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          | 合計         |
|          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          | ¥4,606,650 |

| R5年度<br>生産活動<br>費 | 4月分     | 5月分     | 6月分     | 7月分     | 8月分     | 9月分     | 10月分    | 11月分    | 12月分    | 1月分     | 2月分     | 3月分     | 合計       |
|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| B型収入              | ¥22,725 | ¥29,700 | ¥28,350 | ¥27,000 | ¥29,700 | ¥27,000 | ¥29,700 | ¥25,650 | ¥29,600 | ¥28,800 | ¥31,800 | ¥22,200 | ¥332,225 |
| B型工賃              | ¥15,150 | ¥19,800 | ¥18,900 | ¥18,000 | ¥19,800 | ¥26,900 | ¥32,350 | ¥23,400 | ¥22,500 | ¥21,375 | ¥23,625 | ¥22,200 | ¥264,000 |
| B型経費              |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | ¥70,743 | ¥70,743  |
|                   |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | ¥-2,518  |

| R6年度<br>生産活動<br>費 | 4月分     | 5月分     | 6月分     | 7月分     | 8月分     | 9月分     | 10月分    | 11月分    | 12月分    | 1月分     | 2月分     | 3月分     | 合計       |
|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| B型収入              | ¥50,700 | ¥53,950 | ¥43,700 | ¥52,800 | ¥43,750 | ¥48,100 | ¥49,750 | ¥48,250 | ¥49,950 | ¥46,100 | ¥49,750 | ¥53,000 | ¥589,800 |
| B型工賃              | ¥29,700 | ¥31,050 | ¥25,650 | ¥31,050 | ¥25,650 | ¥31,450 | ¥32,700 | ¥30,850 | ¥34,250 | ¥31,650 | ¥33,000 | ¥33,850 | ¥370,850 |
| B型経費              |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | ¥13,416 | ¥13,416  |
|                   |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | ¥205,534 |

| R7年度<br>生産活動<br>費 | 4月分     | 5月分     | 6月分     | 7月分     | 8月分     | 9月分     | 10月分    | 11月分    | 12月分    | 1月分     | 2月分     | 3月分     | 合計       |
|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| B型収入              | ¥52,000 | ¥70,200 | ¥69,500 | ¥69,200 | ¥67,100 | ¥72,600 | ¥77,550 | ¥69,200 | ¥72,450 | ¥85,800 | ¥87,600 | ¥94,500 | ¥887,700 |
| B型工賃              | ¥40,050 | ¥54,050 | ¥52,750 | ¥38,800 | ¥40,600 | ¥53,350 | ¥58,150 | ¥51,100 | ¥49,800 | ¥56,800 | ¥58,600 | ¥63,000 | ¥617,050 |
| B型経費              |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | ¥10,150 | ¥10,150  |
|                   |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         | ¥260,500 |

※現在の作業内容としてはケアハウス・特養の清掃作業、デイサービスの清掃作業、リネン交換、軽作業(シール貼り・トロミカップ・おしぼり準備)、洗濯業務など

## ④ 行事について

餅つき会やケアハウスのバスハイク、クリスマス会などに参加  
また、2,3ヶ月に一度、社会貢献・地域交流を兼ねてクリーンパートナー活動を行う

## ⑤ 今後の課題として

新規の利用者獲得に向け、改めて支援学校や相談支援センター・コミュニティーセンター・民生委員などと連携して情報共有し活動を行っていく  
外部の研修会や業務連絡会などにも積極的に参加する

## 久留米市クリーンパートナー活動について

※利用者とスタッフにて、

2, 3 ヶ月に 1 回 30 分程度、近隣の清掃活動を実施する。

### ① 活動の場所

- ・青木小学校近辺
- ・上青木コミュニティー広場
- ・四郎丸コミュニティー広場 等

### ② 活動の目的

地域の方々が安心安全に過ごせるような環境づくりをめざす。

### ③ 活動を通して

- ・環境保全の大切さの意識づくりを図る。
- ・美しい社会づくりに貢献する。
- ・地域の方々との交流の機会を作る。

### ※施行日 令和 7 年度

| 6/19(木) | 9/25(木) | 10/14(火) |
|---------|---------|----------|
|         |         |          |
|         |         |          |